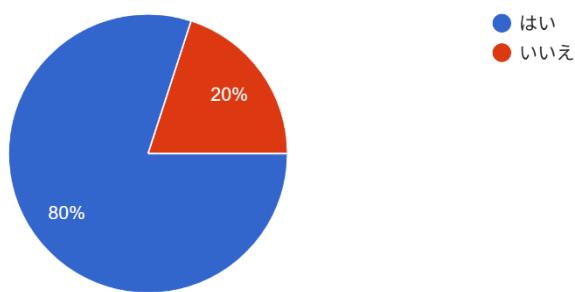


■対内アンケート

設問 1

青年会議所活動における会員拡大を自分事と捉えて活動できましたか。

30 件の回答



はい（24名）

- ・拡大とは離脱者の抑制と考えフォローに気を付けていた。
- ・自分の役割と責任を感じ、邁進しました
- ・会員減少が入会当時と比べ、目に見えてわかる課題なので。
- ・会員拡大の必要性を意識しながら、自分にできる範囲で協力するよう努めました。
- ・拡大の必要性に気付くことができた
- ・青年会議所活動は素晴らしい→活動を持続可能なものに、より素晴らしいものにするには会員増加が必要→拡大する、ずっと拡大やってます
- ・毎月の拡大会議がすごく気まずかったから。
- ・定期的な拡大のミーティングや委員会への担当をつけることによって委員会時の話しあいが増えたため
- ・人数が少ないから
- ・会員が減少することで、活動領域を広げれなくなり、より良いまちや社会にむけての可能性を失ってしまうから
- ・このままの人数では会が存続できないので、存続し続けるためには絶対に必要だと考えるからです。
- ・拡大していかないと資金面や活動面でJCの存続が難しくなると考えている為
- ・今まで声を掛けたことない方にも声掛けをするようになった。
- ・入って欲しい人がたくさんいるから
- ・実際したから
- ・事業運営、会の存続のために一定数の人数確保は必要だと痛感したため
- ・自分が伝えられる拡大内容があると考えているから。
- ・常に会員拡大は意識していますが、実際に役に立ておらずに申し訳ないです。
- ・会員が拡大することで、様々な人と交流でき、活動の幅が広がるから。

- ・会員が減ってきてている状況は卒業の近い自分にとってはとてもさみしいし、心配の一つ。自分がいなくなっても、活動をがんばってもらいたい。

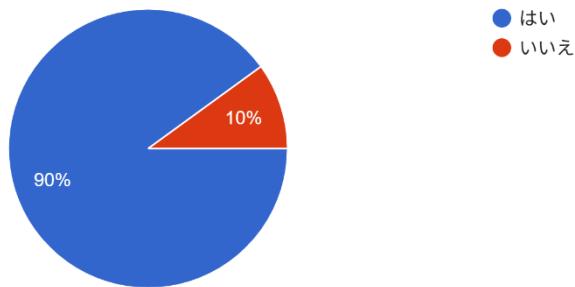
いいえ（6名）

- ・積極的に活動はしていないが、色んな人にJCの話題の話はした
- ・自分の役割をこなすことで一杯一杯でした
- ・住まいが遠方になり、やや意識が低下した
- ・そのようなものだと思って活動してきましたが、青年会議所はそれぞれにとって必要かどうかだと思うので求めていない人へ進めるなどをやめました。
- ・どうしても忙しさからできませんでした。
- ・会員拡大活動の必要性は感じながらも、現状まわりに青年会議所に入れそうな人もおらず、声掛け等できていなかったため

設問2

青年会議所活動に主体性をもって取り組むことができましたか

30件の回答



はい（27名）

- ・委員長がいなくなったので精一杯、旗を振りました
- ・明確な役割があったから
- ・青年会議所活動は素晴らしいから
- ・委員長なので
- ・色々な取り組みに積極的に参加することでより主体性を持ち取り組めたと思います
- ・自分の時間の空きがある中での活動している
- ・自ら考え、行動することが四日市青年会議所の必要とされている姿を映すから
- ・何よりも楽しいから。たのしくて自分の力にもなる最高の機会であり場所だと考えます。
- ・副理事長として様々な活動をしたからです。

- ・やりたいことしかやりません。
- ・青年会議所を信じてるから
- ・わずかですが自分ごととして、課題を考え、解決していく方向性、手法について議論することができたため
- ・自分の成長につながりがあると知っているので
- ・今年は忙し過ぎました…専務時代を超えるほど主体的に関わり、LOMでの活動とは違う視野を持てました。海外好きがいたら拡大活動に一番貢献できる自信はあります。
- ・住まいが遠方になったが、遠方なりに参加できた
- ・役柄そのように取り組みました。本来の自分が考えるものと真反対でストレスでしかなかったです。青年会議所への学びも求めていません。
- ・やれば成長につながるから。
- ・出向したため
- ・今年は理事に選出してもらえたので、みんなの手本になることを意識して活動していました。
- ・各種例会等出席できるものに関しては参加できていたため

いいえ(3名)

- ・特になし
- ・どうしても日曜日の出席は難しいため
- ・仕事などで毎回の参加が出来ないことや、時間をそこまで割けないこともあり主体的に活動に取り組めていない